

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : カルパー粉粒剤 1 6

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 農薬

会社情報

保土谷化学工業株式会社

アグロ事業部

105-0021

東京都港区東新橋 1-9-2

T 03-6852-0380 - F 03-6274-5814

nouyaku@hodogaya.co.jp

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 03-6852-0415
環境安全部

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性	酸化性固体	区分 2
健康有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
	皮膚感作性	区分に該当しない
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 3
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP)

: 危険

危険有害性 (GHS JP)

: 火災助長のおそれ: 酸化性物質 (H272)
重篤な眼の損傷 (H318)
水生生物に有害 (H402)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
衣類及び可燃物から遠ざけること。(P220)
環境への放出を避けること。(P273)
保護服、保護眼鏡、保護面、適切な保護手袋を着用すること。(P280)

安全データシート

カルパー粉粒剤 16

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

- 応急措置 : 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
(P305+P351+P338)
直ちに医師に連絡すること。(P310)
- 廃棄 : 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
(P501)

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
- 化学名 : 過酸化カルシウム粉粒剤

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
過酸化カルシウム	16	(1)-190	化審法と同じ	1305-79-9
鉱物質等	84	-	-	-

4. 応急措置

応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

- 症状/損傷 眼に入った場合 : 眼に重度の損傷を与える。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : データなし
- 火災危険性 : 火災助長のおそれ : 酸化性物質。
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

安全データシート

カルパー粉粒剤 1 6

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

応急処置 : 漏出エリアを換気する。
裸火、火花禁止、禁煙。
皮膚、眼との接触を避ける。

緊急対応者

保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第 8 項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

浄化方法 : 製品は機械的に回収する。
本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし

安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
個人用保護具を着用する。
皮膚、眼との接触を避ける。

接触回避

衛生対策 : データなし
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。

安全な容器包装材料

混触禁止物質 : データなし
可燃性物質。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具 : 保護用手袋

眼の保護具 : 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

個人用保護具シンボル

安全データシート

カルパー粉粒剤 1 6

JIS Z 7253 : 2019 に準拠



環境へのばく露の制限と監視

: 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
外観	: 粉末
色	: 類白色
臭い	: 無臭
pH	: データなし
融点	: 257° C (過酸化カルシウム)
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 2.92 g/cm ³ (25°C) (過酸化カルシウム)
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 火災助長のおそれ: 酸化性物質。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 高温面との接触を避ける。熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。
混触危険物質	: 可燃性物質。
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性 (吸入)	: 分類できない (気体) 分類できない (蒸気) 区分に該当しない (粉じん、ミスト)

安全データシート

カルパー粉粒剤 16

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

カルパー粉粒剤 16	
LD50 経口 ラット	> 16000 mg/kg ♂♀ (54%粉剤)
LD50 経皮 ラット	> 10000 mg/kg ♂♀ (54%粉剤)
LC50 吸入 - ラット	> 5.3 mg/l ♂♀ (35%粉剤)

皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない 刺激性なし (35%粉剤)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 重篤な眼の損傷 投与 1 時間後~投与 21 日後に刺激性あり (ウサギ)、角膜混濁、虹彩の充血、結膜発赤は投与 21 日後にも回復しない (35%粉剤)
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 陰性
生殖細胞変異原性	: 分類できない Ames 試験 陰性
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性)	: 水生生物に有害
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 区分に該当しない

カルパー粉粒剤 16	
LC50 - 魚 [1]	> 1000 mg/l コイ
EC50 - 甲殻類 [1]	20.5 mg/l オミジノコ
ErC50 藻類	16.7 mg/l ムシカツキ藻 72h
NOEC 藻類 慢性	6.25 mg/l ムシカツキ藻 NOECr 72h

残留性・分解性

カルパー粉粒剤 16	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

カルパー粉粒剤 16	
生体蓄積性	データなし

土壌中の移動性

カルパー粉粒剤 16	
土壌中の移動性	データなし

安全データシート

カルパー粉粒剤 1 6

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG) : 1457
正式品名 (UN RTDG) : 過酸化カルシウム
容器等級(UN RTDG) : II
輸送危険物分類 (UN RTDG) : 5.1
危険物ラベル (UN RTDG) : 5.1



クラス (UN RTDG) : 5
区分 (UN RTDG) : 5.1
少量危険物 (UN RTDG) : 1 kg
微量危険物 (UN RTDG) : E2
包装指令 (UN RTDG) : P002、IBC06
特別包装規定 (UN RTDG) : B2
ポータブルタンク及びバルクコンテナ/要件 (UN RTDG) : T3
ポータブルタンク及びバルクコンテナ/特別要件 (UN RTDG) : TP33

海上輸送(IMDG)

国連番号 (IMDG) : 1457
正式品名 (IMDG) : CALCIUM PEROXIDE
容器等級(IMDG) : II
輸送危険物分類 (IMDG) : 5.1
危険物ラベル (IMDG) : 5.1



クラス(IMDG) : 5.1
区分(IMDG) : 5.1
少量危険物(IMDG) : 1 kg
微量危険物(IMDG) : E2
包装要件(IMDG) : P002
特別包装規定 (IMDG) : PP100

安全データシート

カルパー粉粒剤 1 6

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

IBC 包装要件(IMDG)	: IBC06
IBC 特別規定(IMDG)	: B21
ポータブルタンク包装規定 (IMDG)	: T3
輸送特別規定-タンク (IMDG)	: TP33
積載区分 (IMDG)	: C
特性および観察結果 (IMDG)	: White or yellowish powder. Particularly if wetted with small quantities of water, a mixture with combustible material may ignite following impact or friction. When involved in a fire, or on contact with water or acids, decomposes, evolving oxygen.
緊急時応急措置指針番号	: 140

航空輸送(IATA)

国連番号 (IATA)	: 1457
正式品名 (IATA)	: Calcium peroxide
容器等級 (IATA)	: II
輸送危険物分類 (IATA)	: 5.1
危険物ラベル (IATA)	: 5.1



クラス (IATA)	: 5.1
区分(IATA)	: 5.1
PCA 微量危険物(IATA)	: E2
特別管制区(PCA)少量危険物(IATA)	: Y544
特別管制区(PCA)数量限定物の最大積載量 (IATA)	: 2.5kg
PCA 包装要件(IATA)	: 558
特別管制区(PCA)最大積載量(IATA)	: 5kg
CAO 包装要件(IATA)	: 562
貨物機専用(CAO)最大積載量 (IATA)	: 25kg
ERG コード (IATA)	: 5L

海洋汚染物質 : 非該当

国内規制

海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号	: 140
その他の情報	: 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法	: 危険物・酸化性の物（施行令別表第1第3号）
外国為替及び外国貿易法	: 輸出貿易管理令別表第1の16の項
船舶安全法	: 酸化性物質類・酸化性物質（危規則第2, 3条危険物告示別表第1）
航空法	: 酸化性物質類・酸化性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）

安全データシート

カルパー粉粒剤 16

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

港則法	: その他の危険物・酸化性物質類（酸化性物質）（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）
道路法	: 車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2）
農薬取締法	: 該当

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしてはいるが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。